

あなたからのありがとうございます
ありがとうございます

岩手県花巻市東和町安俵6区97番地
特定非営利活動法人ゆう・ゆう
発行：グループホームなごみ・なごみⅡ
電話 0198-43-1050
FAX 0198-42-1753
Email nagomi@cup.ocn.ne.jp
URL <http://www.yuyu-nagomi.com>

第156号 平成30年5月1日発行

広報紙なごみ



菊地 功様は4月に85歳の誕生日を迎えられました。今は年齢から10歳ひいた年齢が実年齢とか。

なごみⅡの皆様は最近年齢不詳です。

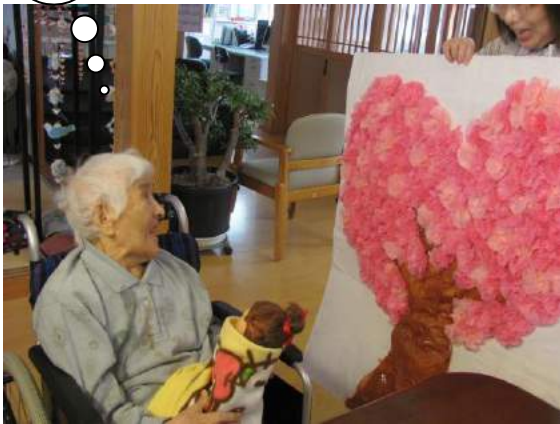
なごみの暮らし



お話しボランティアさんの手伝いももらって桜の花作り。展勝地が先かなごみが先か・・・

ギョギョい
つの間に

満開ですよ。横川さん!



ああ良
い気持
ちだこと



テレビ体操を見ながら体操をして今日の日が始まります。
「疲れるねえ」



4月の下旬に芝桜の名所(宮田小菅シゲ子様宅)に見物に出かけました。「綺麗なものを見るとどうして涙が出るんでしょうね。泣けてくるワ」



ヤクルトのカラーでスカイツリーを作成。このツリーを一吹きで倒せるか・・・これが意外と難しい。「息切れして健康に悪い」と小野寺様は棄権。

ドライブの途中で可愛い馬に遭遇。ポニーでもロバでも無いそうでこれ以上大きくならないとか。「つどもどつぞ」とお誘いを受けたのでまた行こうと思います。



なごみⅡの暮らし



「今年も鯉のぼりが上がったね」「そうよお父さん。ここに来て何度目の春かしらね」



「起きろ起きろみな起きろ」フライパンを持って起床ラッパの替わりは伊藤ユキエ様のパフォーマンス。



「この兜が完成した暁にはめいめいの顔写真を貼って飾るんですよ。」



なごみⅡクリーニング店はゴールデンウィークも休まず営業しております。冬物はお早めに当店へ!



向こうに小さく見えるのはどなたでしよう?のどかななごみ風景です。



4月18日花巻方面に花見ドライブ。花より団子でイトーヨーカドーでおいしいものを食べてきました。「花は咲いてましたか?」「さて?」



お馴染みなごみⅡのコント55号。あれ?知らない?

最近、新聞やテレビで高齢化社会に対応する医療・介護サービスの提供体制の改革を、国全体で本格的に取り組んでいくという主旨のことが報道されています。この改革の一つに、「認知症にかかる地域支援事業の充実」があります。なごみでも入居者様の心身の状態に合わせた適切な介護サービスを提供出来るように工夫しながら取り組んでいます。入居者様は、認知症のため自分の思いを正確に他者に伝えることが困難な状況にあるので、私たちはその思いを代弁して行かなければなりません。

しかし、これが非常に難しいことで、研修を積み重ねながら日々勉強していかなければなりません。職場では定期的に検討会を開き、職員が情報を共有していくようにしています。

今後益々高齢化は進行し、同時に認知症高齢者も増加していくことが予測されます。グループホームは、認知症の方々が自立した生活を送ることが出来るよう支援していく場所として、今後益々その役割は重要になっていきます。そして、地域に開かれた憩いの場所としての役割も担っています。これからも多くの方々のボランティアや慰問等を通じて交流を深めながらホームを盛り上げていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

なごみ介護支援専門員 佐々木昂平

私事です。昨年10月に30年間連れ添った夫を病気で亡くしました。別れは突然でした。あれから半年が過ぎようとしていますが、ふとしたときに淋しさがこみ上げてきて未だに心にぽっかりと空いた穴を埋めることが出来ずにいます。

一緒にいたときは喧嘩ばかりしていたのに、今になってもっと優しくすれば良かった。こうしてあげれば良かった。一緒に旅行したかった。沢山話をすれば良かった等後悔の気持ちと30年間の様々な事を思いだし、もう側にはいないのだと言う淋しさで押しつぶされそうになります。

今年の冬は特に雪の多さと寒さが身に沁みました。寒くて暗い家に帰り、たった一人で食事をするのがとても辛かったです。連れ合いを亡くした人、大切な人を失った人はそれぞれの思いを胸に秘めて生きているのだと思います。この苦しみや辛さは体験した人でなければ分からないでしょう。大切な人を失ってからその人の存在や有り難みに気づいても遅いのです。

どうか皆さんは、いつも気づかずに何気なく接している自分の身近にいる配偶者、子供、親そして友達、恋人、知人、同僚、入居者様。どの方に対しても普段から優しい言葉掛けと思いやりのある対応を心がけて欲しいと切に思います。

なごみII主任介護員 佐々木ひろみ

お蔭様です

お話ボランティアの皆様 レクリエーション

5月の行事予定

5月14日 決算監査

5月26日 第52回理事会・第43回総会



なごみIIの若武者連

窓辺から見える風景

今年の桜前線は、たった二日間の雨にたたられて早々に葉桜になってしまいましたが、この季節どこの庭先を見回しても花が咲き誇って私たちの目を楽ませてくれます。

どなたの記述だったか忘れてましたが、娘に「花の名前を知らない男とは付き合うな」と言った親がいたそうです。

一つひとつの花に思いを寄せる優しさや心の豊かさを持った男を選びなさい。軽薄な男に掴まるなどという親心から出た言葉なのでしょう。私のようにチューリップとタンポポしか知らない男はさしずめ失格だろうと思ったものでした。花を愛でるにもその花の名前を知れば喜びも深まり、会話も弾みお互いの気持ちも更に通い合うというものでしょうが・・・。

平安の世から、花鳥風月を眺め様々な言葉遊びのなかから、それが後世に残る文学にまで深化してきたことを考えると、当時の人々が自然をいかに慈しんできたかが分かります。

我が家も、ユキヤナギが真っ白な花を咲かせ、木蓮が今まさに花開こうとし、花桃も桃ピンク色や真っ赤な花を咲かせ、野山が薄緑に萌え出すのを見ると心がなごみ幸せを感じる季節です。

4月に入ってからなごみにインフルエンザが流行し、9人中5人の方が罹患するという悲惨な時期があり、面会も外出も制限する事態になりましたが、やっと落ち着きを取り戻し胸をなで下ろしています。これからは温かい日を見計らっている所に出かけて気分転換を図って頂こうと思っています。

話は替わりますが、昨年家族様アンケートを実施したところ、沢山のご意見を頂きかつお励ましの言葉も頂き、職員一同これからも「入居者様第一」の気持ちでお世話に当たっていかうと気持ちを締めつけたところです。また、家族様のご提案を受けて、職員の名前と顔を憶えてもらうために「顔写真入り職員一覧表」を掲示することに致しましたのでお知らせいたします。

統括 佐藤 俊一